



Title	デザイン理論 72号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2018, 72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70559
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2017年度 意匠学会賞選考結果報告	面矢慎介	1
2017年度 意匠学会論文賞選考結果報告	面矢慎介	2

論文

中平康『狂った果実』再考	安部孝典	5
外客誘致の宣伝戦略 —— 里見宗次《JAPAN》ポスターの制作背景に関する考察 ——	熊倉一紗	19
新商品開発における開発目標の質と設定に至るプロセスとの関係 —— 検証実験および発話解析による分析 ——	畔柳加奈子 櫛勝彦	33
オランダの19世紀から20世紀にかけての漁家・農家住宅の構法について —— エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館, オランダ屋外博物館の 移築・復元住宅を資料として ——	佐々木一泰	49
蒔絵師・迎田秋悦の制作活動と宮崎タンス店の関係性について —— 明治末から昭和初期の動向を中心に ——	下出茉莉	65
近代日本のデザインとジェンダー —— 手作りインテリアの意味をめぐる考察 ——	神野由紀	79
クリストファー・ドレッサーの装飾デザインにみる色彩論の展開	竹内有子	95

研究発表要旨

第231回 意匠学会研究例会 2017年9月30日 京都工芸繊維大学

戦後日本における屋根壁連続建築の発展についての研究	李海寧	110
---------------------------	-----	-----

第232回 意匠学会研究例会 2017年11月18日 大阪工業大学

丸紅商店染織美術研究会に関する研究 —— 近代京都の図案教育に関する追跡調査Ⅰ ——	岡達也	112
---	-----	-----

オランダの漁家・農家住宅の構法と意匠の関係について —— エンクハウゼン・ゾイデルゼー博物館, オランダ屋外博物館の 民家博物館の移築・復元住宅を資料として ——	佐々木一泰 114
---	-----------

大量生産の時代における手作りのデザインとジェンダー —— 手作りインテリアの意味をめぐる考察 ——	神野由紀 116
--	----------

第233回 意匠学会研究例会 2018年2月17日 京都女子大学

大阪万博アメリカ館と QUILT —— 日本におけるキルトの受容 ——	片桐真佐子 118
-------------------------------------	-----------

近現代讃岐漆芸における意匠表現の革新 —— 文化財保護法及び日本伝統工芸展の影響 ——	佐々木千嘉 120
--	-----------

蒔絵の琳派意匠についての考察 —— 売立目録を中心に ——	矢野節子 122
-------------------------------	----------

書評

並木誠士著『日本絵画の転換点 酒飯論絵巻 —— 「絵巻」の時代から「風俗画」の時代へ』	多田羅多起子 124
--	------------

針貝綾著『ユーゲントシュティルからドイツ工作連盟へ —— 世紀転換期ドイツの美術工芸工房と教育』	天貝義教 126
---	----------

大阪大学美学研究室編『a + a 美学研究 11 —— デザインへの視点』	伊原久裕 128
---------------------------------------	----------

欧文要旨	132
入会申込書 発表申込書	140
投稿規程 執筆要領 投稿票	142
会報83号	145